



令和4年度「鼻ぐり井手祭」で 鼻ぐり劇・馬場楠の獅子舞披露

19日(土)は、あいにくの天気となりました。しかも、子供たちの出番の時間には、雨が結構落ちていた状況となってしまいました。そんな中ではありましたが、地域の伝統を守りたいという子供たちのメッセージが随所に散りばめられた発表を見て、観覧いただいた多くの方々から「本当にいい発表だった」「子供たちの頑張りが素晴らしかった」など、多くのお褒めの言葉をいただきました。雨を吹き飛ばすような、熱のこもった発表で、今後も大切に引き継いでほしいというお声もたくさん聞かれました。ご家族を中心に、保護者の皆様、他の学年のきょうだいの皆さんからも応援をいただきました。発表する子供たちにとっては大きな励みになったと思います。本当にありがとうございました。帰り道、数人の子供たちから「すごく楽しかった!」「頑張りました!」との声を聞き、子供たちのパワーはすごいな、と改めて思ったところです。子どもガイド養成講座でお世話になった松永さんから、最近熊本市内の高校生や、南米ポリビア(!)からの視察団の訪問もあったとお話を聞きました。様々などころで注目を集めている、地元が誇る灌漑施設です。子供たちのメッセージにもあったように、南小から地域の外へ、どんどん発信していきたいですね。

(左の写真：馬場楠の獅子舞、右の写真：鼻ぐり劇の様子)



菊陽町人権子ども集会に向けて ～ 第3回実行委員会(リモート)から ～

12月3日(土)に、本年度の町人権子ども集会が開かれます。本集会の目的は、一人一人の人権が尊重される人権共存社会の実現を目指すこと、児童・生徒が多く差別をなくす仲間がいることに誇りと自信を持ち、前に進む力とすることができる、などとなっています。その準備のために、定期的に各校をオンラインでつなぎ、実行委員会が開かれてきました。21日(月)は早くも第3回目の実行委員会が開かれました。集会宣言文や差別の構造図などについて協議がなされたり、当日の進行等について確認がされたりしました。3日、南小は発表校となっています。土曜日ではありますが、保護者の方々の参加もできますので、どうぞふるってご参加ください。(プリントを子供さんに持たせています)お待ちしております。



画面では、菊陽中学校の生徒が提案・進行をしています。

司会からの投げかけに対し、意見を交わす子供たち。



11月の「ふるさとくまさんデー」は宇城地区から!

21日(月)は、11月の「ふるさとくまさんデー」は宇城地区の特産物を使った献立でした。献立は、「しょうがご飯、白玉汁、卵焼き、れんこんサラダ」。宇城地区は、温暖な気候を生かし、れんこんやトマト、みかんなどの栽培が盛んです。また、熊本県のしょうが生産量は全国2位なのを御存知ですか?そのうちの約8割が、宇城市小川町と八代市東陽町で作られています。また、小川町は白玉餅の原料である餅米の産地で、白玉粉を作るのに必要な清らかな地下水が豊富に湧き出しています。このようなことから、白玉粉作りが盛んになりました。また、松橋町にはレンコン畑がたくさんあります。現在、県内一の産地となり、全国に出荷されています。れんこんは、「先の見通しがきく」ということで、縁起のよい野菜としておせち料理などの祝い事に使われているのは御存知のとおりですね。しょうがご飯などは、なかなか家では作らないものですが、風味がよく、とても美味しかったです。ごちそうさまでした。

